

# くるめ・つながる・くらす通信

第1回 11月11日

【話し合いの3つの流れを学ぼう！】

## 第1回の思い出

みなさまこんにちは！生涯学習推進課の塩足です。この文書では、各回でやったことを振り返りながらみなさまの思い出を刺激できればと思っています。第1回では、最初に、輪になって集まっていたみなさんの硬い表情が、ふっとほどけるような瞬間を多く目にできたなあと思っています。振り返りますと、自己紹介のテクニックとして、「まず少人数で話す、そこから出た感想を共有していく」ことなどが話されましたね。対話というものの大切さやその学びの先にあるものを、講師の山口さんが取り組んだ具体例も交えて学べた回になったのではないのでしょうか。

地域や組織の人々が連携して話し合うことでその場で新しいアイデアが生まれる/掛け合わせることで意識や行動が変容していく。そんな未来を描くことができたように思います。特に、異なる意見を尊重する姿勢、【対話の心得】は目から鱗だと感じました。あまり意識されてこなかった話し合い・対話の場に生まれた新しい視点のもとで、第2回では実験的に、みなさまが進行役に挑戦していくことも予告されていましたね。ドキドキ？ワクワク？



## ☆塩足君の心に留まった一言☆

- ・「話し合いの後、駐車場で車に乗る前が一番本音を言っている」
- ・「ディベートのベースにあるのは信頼関係」
- ・「断定する人には【～という考えもあります】」



## —今日のハイライト—

特に思い出深い話を書いていきたいと思えます。「ああ、ここを拾うんだー。自分と違うなあ」なんて思いながら読んでもらえると幸いです。

植物園の話がでましたね。「職員だけが美しく小高い夜景を独り占めしている」これをもったいないと言える場が、なかなか無いよなあと感じました。もしかしたら職員同士では言っていたのかもしれませんが、組織を横断し、役職も立場もなくフラットな関係づくりの中で出てきた考えだから、実際の行動に移っていったのだろうという気がしました。

また対話で考えていこう！そういう場を作ろう！となったときに駐車場の職員や窓口職員まで声をかけるそのやさらかな考え方に驚きました。これはそういった事例や意識を持っておかないと出てこない発想だと感じました。

みなさまの「第一回のハイライト」はどんなものだったでしょうか。ぜひ思い出を反芻して、シェアしてもらえるとうれしく思います。

## 今後の予定

♪第2回 11月18日♪

話し合いの流れを実践してみよう！

次回も楽しく過ごしましょう☆